

「命の尊さ」への祈りを込め240人を魅了



9月18日(土)



第776号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(10月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,226人
女 3,228人
総人口 6,454人
世帯数 2,260戸

とよおかコンサート

ジャンルを超えて広がる音楽の世界

とよおかコンサート実行委員 森田 益弘



二ストの菊池智恵子さん、ドラマーの萩原朋学さん。今回はドラムが加わり、より多彩なジャンルの音楽が披露されました。

第一部はピアノとドラムのセッションから始まり、祈りや願い、命の大切さをテーマにしたプログラムが続きました。「星めぐりのうた」「チムチムチェリー」など親しみやすい曲では観客も自然に引き込まれ、とても素晴らしいことが起こる魔法の言葉「スーパースター」が演奏されました。

アンコールは「Time to Say Goodbye」。ソプラノとバリトンの美しい二重唱に大きな拍手が送られ、幕を閉じました。まさに「ジャンルを超えて広がる音楽の世界」を体感できる素晴らしいひとときとなりました。



ソプラノ歌手
記:小石峯暁子

またここでコンサートを見せていただけたという喜びと感謝でいっぱいでした。今回のコンサート直後に最愛の夫が急逝し、今日まで色んな事を感じ学びながら生き、選曲の際に頭に浮かんでくるのは、祈りや願い、命の尊さ、この世界で美しき、私がこの二年で感じてきたとても大切なこと

九月十三日(土)、豊丘村交流学習センター「ゆめあて」大ホールにて、とよおかコンサート「ジャンルを超えて広がる音楽の世界」が開催されました。村長の挨拶でも「豊丘村では様々な催しがあるが、これほど多くの人が集まるものはない」と語られたように、保育園児から老若男女約二百四十人が来場し、会場は大いに賑わいました。

出演はソプラノ歌手の小石峯暁子さん、バリトン歌手の田中俊太郎さん、ピアノ

またここでコンサートを見せていただけたという喜びと感謝でいっぱいでした。今回のコンサート直後に最愛の夫が急逝し、今日まで色んな事を感じ学びながら生き、選曲の際に頭に浮かんでくるのは、祈りや願い、命の尊さ、この世界で美しき、私がこの二年で感じてきたとても大切なこと

を、先に生まれていた素晴らしい音楽たちが迎えてくれ、その想いを込めたコンサートでした。

大晦日の紅白歌合戦を見ていると、知らない歌手や曲がたくさんある。特に若い人たちの曲がまったくわからない。反対に昔の曲は今の人にはポカんとさけるだろう。家族そろって歌番組を見ていた時代は、世代を超えた流行歌はだいたい知っていたものだが、そんな機会も減った▼それらの流行歌の中には作曲家・古賀政男のヒット曲がたくさんある。しみりさせる「影を慕いて」「悲しい酒」や、心が浮き立つ「丘を越えて」「東京ラプソディ」など、思わず口ずさみたくなる古賀の業績は「歌謡曲の父」と呼ぶにふさわしい▼ただ彼は流行歌のみを作った良しとしなかった。戦前は外務省の音楽文化親善大使として11カ月間渡米。戦後は

武田信玄狼煙上げ 龍のごとく天まで昇り 地域を繋げ

公民館社会部長 菅沼 秀夫

十八回を数える公民館恒例行事となりました武田信玄狼煙上げは八月三十日(土) 村民グラウンド西側東屋付近で行われました。

協力のもと、滞りなく、また暑さが心配されるなか、安全に終了することができました。

子ども向け各種事業を七月・八月に限定し、各種団体の垣根を超えた一元的な広報活動を行い、子どもたちの積極的な参加を促すとともに事業を体験すること

より中学生ボランティアが企画段階から携わり今年も二年生男子五人組がテレビCMカーニバルへも自分達の考え方をまとめ出演していただきました。

屋敷火を合図に午前九時より開会式を行い、一般参加者にも呼びかけ狼煙の組み立てにも積極的に参加していただきました。

史学会様より「狼煙について」と題し、どうして狼煙と呼んだのか、また狼煙の歴史などについてお話を



(王生雅穂)

